

GLIM 基準を用いた急性期病院入院患者における 低栄養の有病率および病因分類の実態調査：後ろ向き観察研究 について

1. 研究の対象

2024年6月1日～2026年1月31日の期間に当院へ入院した18歳以上の患者さまのうち以下の患者さまを除くすべての方

- ・入院時点で栄養評価が不能な重篤患者さま（終末期、脳死判定など）
- ・身体計測や食事摂取量等のGLIM評価に必要な情報がない場合
- ・入院期間が24時間未満の短期入院の患者さま

2. 研究目的・方法

【目的】急性期病院に入院した全ての患者さま（18歳以上）を対象に、栄養スクリーニングからGLIM基準を用いた低栄養診断を実施し、低栄養の有病率とその分類（表現型・病因）や低栄養と関連のある項目（入院時疾患・既往歴・入院診療科・患者背景・血液検査等）を後ろ向きに明らかにすることで、栄養状態の実態と管理体制構築への基礎資料とします。

【方法】対象となる患者さまの診療情報について、電子カルテなどから情報収集を行い、解析を実施します。

収集する情報はいずれもすでに電子カルテなどにあるものとなりますので、本研究に参加することにより、患者さまに特に実施いただくことはありません。

【研究期間】2025年9月17日 から 2027年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、診療科、入退院日、身長、体重、病名、既往歴・合併症、BMI、下腿周囲長、浮腫・腹水の有無、義歯の有無、褥瘡の有無、入院前・入院中の食事摂取状況、薬剤情報、抗菌薬使用量、医療費、検査結果（血液・生化学検査データ）など

* 本研究では、試料（血液や組織など）については、既に保存されているものを使用することはなく、新たに採取することはありません。上記の情報のみを使用します。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さまもしくは患者さまの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることはありません。

【連絡先】

研究責任者 : 後藤 啓太 (栄養管理室 ・ 管理栄養士)
実施医療機関名 : 国家公務員共済組合連合会 大手前病院
住所 : 〒540-0008 大阪市中央区大手前 1-5-34
電話番号 : 06-6941-0484 (代表) (平日 : 9 : 00 ~ 17 : 00)

(作成日 : 2026 年 2 月 24 日)